



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第543号

2022年3月21日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

無計画な街づくりのしわ寄せが子どもたちへ

緑が丘西地域は、2002年に事業計画認可された西八千代北部特定土地区画整理事業により、約140ヘクタールの面積に計画人口1万4千人、小学校2校、中学校1校の街づくりを計画。しかし、5回に渡る事業計画変更が実施され、計画面積と人口はそのまま、小学校が1校のみとなってしまいました。

その結果、地域の子どもたちは遠く離れた中学校へ通い、新しく建設される大型集合住宅の子どもたちは、近くの小学校を利用できなくなってしまいました。

近くの小学校に通えない！？

八千代市教育委員会は、緑が丘西2丁目に、今年3月中旬に販売を開始し、来年11月下旬に入居を開始する大型集合住宅の建設が始まったことをうけて、「通学区域審議会」を開催しました。

審議の結果、通学区域である「みどりが丘小学校」は、将来教室不足になるという理由で除外されました。

一方で、近くにある「新木戸小学校」は、来年に学童保育棟が建設される予定で、校庭が狭くなるという理由で、適当でないと判断しました。

その結果、新しく建設される大型集合住宅の通学区域は、遠く離れている西高津小学校へ変更することになってしまいました。

「通学区域審議会」での決定は、まもなく八千代市教育委員会会議へ答申として提出され、決定されてしまいます。

子どもたちの安全と健康は大丈夫なのか？

このままでは、駅前マンションの一部だけが、別の小学校の学区となってしまう、子どもたちは、異常気象で過酷な条件の中、近くの小学校を通り過ぎて、遠く離れた小学校まで毎日通わなくてはならなくなります。

気象条件以外にも、遠く離れた西高津小学校までの通学路には、大型ショッピングセンターの駐車場出入口、車の交通量が多い成田街道を横断し、その先は歩道が狭くなっています。また、新木戸小学校と高津中学校の通学路と重なる上、自転車を利用した通勤者など、混みあった通学路での安全確保も心配されます。

誰もが暮らしやすい、暮らしたくなる街づくりへ

日本共産党八千代市議団では、市議会で繰り返し、小学校不足の問題点を明らかにし、地域への中学校の設置について、市の認識を確認したところです。引き続き、子どもたちの安全を最優先にすえて、誰もが暮らしやすい、暮らしたくなる街づくりへ向けて頑張ります。

緑が丘駅前の新築マンションと西高津小学校および近隣学校図

